

2024-2025

Rotary

第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

ステファニー A. アーチック会長

RIテーマ

吉川公章ガバナー

地区方針

本多英司会長

クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

例会場
事務局
ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
豊橋市藤沢町141
ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
http://www.toyohashi-golden-rc.jp
email golden@toyohashi-golden-rc.jp

第 45 回(通算 1703 回)例会報告		令和 7 年 6 月 13 日(金)	役員退任挨拶
出席報告	総会員数 61 名(計算会員数 57 名) 欠席 6 名 出席率 89.47% 前々回修正出席率 90.38%		
歌/会場	かがやく空	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~	

会長の時間

本多英司会長



みなさんこんにちは。
今週東海地方も梅雨入りし、本格的な夏の準備が始まったな、と感じています。
今日はいよいよ役員退任挨拶の例会となりました。

今日の退任のあいさつでは、なんと 15 分もお時間をいただいているので、会長の時間では、以前お話しした「浜田川桜回廊」のその後、についてと、次年度 RI 会長についてのご報告をさせていただきます。

「浜田川桜回廊」について少しおさらいすると、今から 25 年ほど前、私たちのクラブの事業で野依町の浜田川というところに「桜回廊」を作ろうということになり、合計 84 本の桜を植樹しました。その時、豊橋市役所河川課と「ゴールデンロータリークラブが桜の管理をする」という協定を結びました。15 年ほど管理をしていたのですが、時代の変化により、管理を野依町の自治会にお任せすることになり、私たちの手から離れたと思っていたのですが、市役所との協定はまだ残っていて、管理団体は私たちのままだになっていたことが今年度になって発覚しました。

これは何かしないと、ということで、尾崎会員にご尽力いただき、野依町自治会長・豊橋市河川課らと話し合っ、管理団体を野依町自治会に変更する契約を進めましょう、となった、というところまでお話ししました。
その後、順調に事が運び、去る 5 月 15 日、正式に豊橋市と野依町自治会が無事、協定を結ぶことができました。これで、晴れて、本当に、浜田川の桜回廊は、正式かつ公式に、私たちの手を離れることとなりました。以上が、浜田川のその後についてのご報告です。

もう一つ、RI 次年度会長について。今週火曜日、私にステファニー RI 会長から 1 通のメールが届きました。

なんと、次年度 RI 会長予定のブラジルのマリオ・デ・カマルゴ会長エレクトが役職を辞する、つまりやめることとなったというものです。書簡によると、個人的・ビジネス面の懸念により、辞任が必要であるとあったそうです。

新年度を数週間後に控え、極めて異例のことですが、今日の深夜に国際ロータリーの理事会で善後策を話し合うそうですので、今はこれしか情報がありません。続報がきたら、またご報告いたします。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！

高井龍雄会員



ロータリーの友読みどころ



金子通信雑誌委員長

皆さんこんにちは。金子です。
本年度、最後の「ロータリーの友の読みどころ」を紹介させていただきます。

まず初めに横組み 2P「2026 年大規模プログラム補助金を申請しよう」へのリンクページが掲載されました。補助金申請はお早めに。

横組み 7P~13P「特集・The Rotary Songs」の 11P に名古屋西 RC の歌の経緯が掲載されています。クラブ創立会員の白木信平さんと藤山一郎さんとの交友関係を交えたエピソードが紹介されています。歴史のあるクラブの紹介です。

横組み 14P~24P「2025 年度規定審議会リポート」についての特集が掲載されました。ロータリアンとしては重要な規定審議会ですが、一般には馴染みが薄いですが、その実態・歴史などが紹介されていて興味深い内容の報告が掲載されました。10 ページにわたる詳細内容ですが一読を。

横組み 25P 先日開催されたロータリーフードフェスティバルでも活動されていた「愛知から世界へ！ウクライナの若者の夢を、私たちの手で支えたい」が PICK

OUT PROJECT で紹介されました。名古屋和合 RC が支援されているクラウドファンディングも紹介されています。6 月末までですので、どうぞご応募ください。

横組 26P～27P「全国ローターアクト研修会」報告が掲載されました。

横組 28P～29P「大阪・関西万博」の開幕前夜祭報告が掲載されました。

横組 43P 東京クロスシティ RC のグルメ同好会が「ロータリー飲食ナビ」を作られました。あの有名店なお店も、ロータリアンが経営されている!という発見も!

縦組 4P～8P SPEECH に外交問題研究所代表の近藤誠一さんより「文明と文化～平和な社会のための役割」と題する記事が掲載されております。2750 地区第 3 回ロータリーファミリーホームカミングディ基調講演要旨が掲載されました。世界平和は努力なしには構築できないことを詳しくまとめられています。

縦組 14P～15P 今月の俳壇に名古屋北 RC の吉田正克さん、柳壇に名古屋錦 RC の石井弘子さんが選ばれました。

縦組 21P 今月の「声」に名古屋熱田 RAC の巖侑真さんのローターアクトの活動報告に関する感想を掲載されました。

以上、「ロータリーの友の読みどころ」でした。皆さん是非御一読願います。

雑誌委員会のメンバーは、尾崎会員、白井会員、真野会員、(篠原会員)の 5 名です。

各 3 回の読みどころ紹介において委員会の皆様、1 年間大変ご苦勞様でした。

ありがとうございました。

地区研修協議会報告

第 1 分科会

石原聖季会員



4 月 20 日 (日) に 2025-26 年度地区研修協議会に参加してきました。第 1 分科会についての報告を 4 分でお願いますと言われておりますので、何とか迷惑を掛けないようにいろいろと捻りだして報告していきたいと思ひます。

2025-26 年度地区方針は「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!」～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって 絆を深め 奉仕の歯車を力強く廻そう～です。

鈴木ガバナーより「縁尋機妙 (えんじんきみょう) 多逢聖因 (たほうしょういん) 錯集文成 (まじりあつまりあやをなす)」という言葉を受けました。

- ・縁尋機妙 (えんじんきみょう) ……良い縁が更に良い縁を尋ねて発展していく様は誠に妙なるものがある。
- ・多逢聖因 (たほうしょういん) ……いい人に交わっていると良い結果に恵まれる。

- ・錯集文成 (まじりあつまりあやをなす) ……社会というのは異なる人同士が集まり、意見が違うからこそ議論が成り立ち、発展性がある。異質なものを排除しない世界。それが質の高い集まりである。それがロータリーである、…との事です。

クラブ行動計画の推進について、次期地区行動計画推進リーダーの伊藤靖祐様 (江南) よりお話を頂きました。行動計画の優先事項である 4 つ (インパクトをもたらす、基盤を広げる、かかわりを促す、適応する) に沿って戦略計画を立案しロータリークラブセントラルを活用して目標を記録してくださいとありました。関係者の方はお願いします。

ロータリーの危機管理について、次期危機管理委員長の大見宏様 (安城) よりお話を頂きました。特に印象的だったのが「ハラスメントなどのリスク徹底」の話が多くありました。皆さん、大丈夫ですか。セクハラ、パワハラ、…この時間はスピーチハラスメント (スピハラ) なんてありませんか?

会員増強について、次期会員増強委員長の木所壮太様 (豊橋東) よりお話を頂きました。RI 会長も会員増強については「1 に会員増強、2 に会員増強、3 に会員増強である。」と仰っており、かなり力を入れています。

「第一に、クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れること。第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がり地域社会にさらに多くの資源を投入できる。第三に、クラブは成長するか衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤を築くためには後継者育成計画が重要である。」と話されています。そして、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことを使命として共に成長、奉仕、つながりの旅路を歩んでいきましょう。よいことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましよう」と結んでおり、増強の重要性を仰っていました。

世界・日本・第 2760 地区の会員数の推移 (2023 年度、2024 年度)

いずれも減少傾向となっており、ここに歯止めをかけることが求められています。



第 6 分科会

西郷隆治会員



テーマ

ロータリー財団を学び活用しよう

開催日 2025 年 4 月 20 日

会場 名古屋マリオットアソシアホテル



<活動計画>

ロータリー財団への寄付は皆様の寄付のみで活動しています。世界でよいことをし続けるためには皆様からの寄付がとても重要です。

●2025-26年度の地区目標●

年次寄付	お一人	150 ドル以上
ポリオプラス	お一人	30 ドル以上
恒久基金	1 クラブ	1,000 ドル以上
ポールハリス・ソサエティ		+1 名以上
ポリオプラス・ソサイエティ		会員の 5%以上

●重要な寄付分類●

年次基金

3 年間投資され、その収益が財団の運営に活用されます。

元金は 3 年後、地区補助金やグローバル補助金などに活用されます。

ポリオプラス

ポリオ根絶活動を支援します。

ワクチン投与の他、輸送、モニタリングなどに活用されます。

恒久基金

元金が支出されることはなく、収益の一部が、毎年重要な活動に起因します。

ENDOWMENT

RI では永続的な活動のため 2025 年までに 20 億 2,500 万ドルとする目標が掲げられています。

財団卓話のための勉強会

9 月 26 日 10 月 9 日 10 月 20 日

金額ドル⇒円換算し算定されます。

第 8 分科会

小笠原英彦会員



こんにちは、次年度米山記念奨学委員長の小笠原です。

4 月 20 日に行われました、2025-26 年度地区研修・協議会における「米山記念奨学」について報告させていただきます。会場は名古屋

マリオットアソシアホテルにて開催されました。名駅から降りてすぐ会場でしたので非常に良かったです。

14 時 30 分～16 時 10 分までの 100 分間みっちり研修を受けてまいりました。自分では早めに会場に入ったつもりでしたが、空いている席はすでに最前列しかなく、やむを得ず最前列で研修を受けてまいりました。

次年度の米山記念奨学のテーマは「未来に向かって、世界平和の懸け橋になろう」です。

米山記念奨学事業とは、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

まず、次期米山記念奨学委員長の挨拶がありました。続いて次期米山記念奨学副委員長より「寄付増進について」説明があり、会員の皆様に米山記念奨学についてご理解いただき寄付の増進をしていただきとのことでした。続いて次期米山記念奨学委員より「奨学生選考について」説明がありました。選考とは直接関係はないですが、パワハラやセクハラなどハラスメントについて報告がありました。奨学生へのハラスメントは誤解から生まれてしまう場合があり、普段からの習慣の違いについて確認をするなどして、奨学生との間で誤解がないように相互理解を深めることが必要であると報告がありました。続いて次期米山記念奨学副委員長より「世話クラブとカウンセラーの役割」として 6 つの項目についての説明がありました。

①例会への招待と奨学金の支給

②奨学生レポート・カウンセラー所見の提出

③卓話と近隣クラブへの紹介

④カウンセラーはクラブと奨学生をつなぐパイプ役であること

⑤ロータリーの精神を伝え、奨学生の責任と義務を感じてもらおう

⑥期間終了後も奨学生と連絡を取合い交流の機会を作る

以上の内容につきましては、カウンセラーである杉田会員と協力して活動していきたいと思います。最後に 10 人ぐらいでグループ討議が行われました。内容は各クラブで実施している米山奨学生との交流などについて討議いたしました。名古屋のあるクラブでは市内の奨学生を招待して交流の場を提供しているとのことでした。また、あるクラブでは奨学生とローターアクトと一緒に交流しているクラブもありました。全く余談ですが、同じグループにみえた方とお話をしていたら、そのクラブでは会員数が少なく、入会 4,5 年目で幹事の役が回ってくるとのことでした。我がクラブにいることにたいへん感謝しております。

以上で地区研修の報告とさせていただきます。



役員退任挨拶



選ばれるブランドを
2024-25年度 豊橋ゴールド

鵜殿健次会計

こんにちは。今年度会計を務めさせていただきました鵜殿です。会計の話をいただいてから 1 年半が過ぎました。あっという間に過ぎてしまった感じです。本当に松本さんにすべてお世話になり過ごした 1 年でした。松本さんには感謝しかありません。松本さん、ありがとうございました。

さて、今回は会計という形で初めてゴールデンの中核に入り経験させていただきましたが、本当に会長の思いや熱意がクラブの運営から各委員長さんたちの事業の内容まで反映することを目の当たりにしまして、会長の役割の重大さをすごく感じました。会長職を務めるには前後合わせて 5 年の月日を要することが想像しても想像しきれない感じです。歴代の会長、また今後の会長を務めようとしている方々に敬意を表します。

最後に、あまりにも無謀な予算を立てましたが青木委員長以下ニコボックス委員の皆さんの踏ん張りで見事達成が実現します。本当にありがとうございました。



伊藤眞芳 S A A

皆さん、こんにちは。本年度、S.A.A.の役職を担当しています伊藤眞芳です。

ロータリークラブでは、「会場監督」と言われています。

我がクラブの細則に「S.A.A.は、本クラブの例会その他の会合の運営にあたり、気品と秩序を保持すること及び通常その役職に付随する職務を行い、また、理事会のメンバーとしての任務及びその他会長または理事会によって定められる任務を行うものとする。」とあります。この細則によると、先ず、例会やその他の会で、会が秩序正しく楽しい雰囲気になるように運営する会場監督の任務があり、また、クラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」のもと、理事会のメンバーとして、会員のため、地域のために活動していく任務がありました。

そして、「会場監督」としての具体的な活動は、次のようにしました。

例会場は、主として 30 階「ル・モン」としました。席次は、指定席を除き、トランプによるテーブル指定をしました。ゲスト・ビジター、並びに例会での役のある会員・誕生日祝い・入会記念日祝いの会員は指定席としました。また、例会場は禁煙とし、ロータリーバッジの着用を原則としました。例会ソングは、原則として、毎月、第一例会は国歌「君が代」と「奉仕の理想」とし、他の例会は「それでこそロータリー」「我らの生業」等のロータリーソングを、又、例会がより楽しくなるように月に 1 回程度、「童謡等」を適宜取り入れました。ゲスト・ビジターの対応には心を配り、温かくお迎えしました。そして、誕生日祝い・入会記念日祝いの記念品は、会員が喜んで使ってもらえるような記念品としました。食事時間は 12 時 10 分から 12 時 30 分、例会時間は 12 時 30 分から 13 時 30 分を原則としました。食事は、和食・洋食・中華を基本とし、季節や例会の内容等に合わせました。食事中は和やかな雰囲気づくりをし、会員同士の交流の場としました。食事では、食事数と出席者の数との整合性に少し苦慮しました。

この様に S.A.A という役職の活動にあたり、理事会・親睦活動委員会・プログラム委員会・出席委員会と連携を図り、例会その他の会合が秩序正しく楽しい雰囲気になるように努めました。また、事務局の松本さん、ロータリーソング、食事などロワジールホテルの関係者の皆

様にも大変お世話になりました。さらに、会員の皆様方の多大なるご協力を頂いて、無事、今まで務めさせて頂きました。本当にありがとうございました。



青山泰三副会長

副会長兼クラブ奉仕委員長として退任のご挨拶をさせていただきます。

はじめに副会長としては、本多会長を補佐し理事会役員の使命を果たすことに努めました。会長は、予想通りご自身の役目を完璧に果たされましたので、私は会長の足を引っ張らぬことを心掛けました。会長の時間での数々の話題は、多岐にわたり分かり易く丁寧に会員に向けてご発信いただきとても有益でした。本多会長、本当にありがとうございました。

続いて、クラブ奉仕委員長としては、会長の年度方針『選ばれるブランドを育てよう』の実現を目指し、クラブ奉仕委員会所属の 11 名の実力派委員長の皆様と力を合わせクラブ内奉仕の充実に努めました。7 月の例会で、11 名の委員長から年度計画を説明していただき、クラブ奉仕委員会の全体像を会員の皆様にお伝えし、7 月 26 日のフォーラムを夜例会として「選ばれるブランド」について、会員の皆様が飲食をしながら和やかに語り合う場を提供することで新年度の親睦のスタートを切ることができたと思います。

時間の都合で 11 人すべての委員長のご活躍に触れることができませんがお許しをいただき、私が印象に残ったいくつかをお話しさせていただきます。

高橋プログラム委員長の渾身の例会はどれもが素晴らしい、新会員候補者が実際の例会を体感できる公開例会の企画は、今年度目標の『新会員 8 名入会達成！』の実現に大きく寄与されました。また、高井ラーニング委員長には、ロータリーの三大義務やメーキャップについて、特に入会歴の浅い会員の皆様に改めて分かり易く周知していただき、牧野出席委員長の強力な訴求力も加わり 4 月 11 日、5 月 23 日の例会において修正出席率 100%を 4 年ぶりに達成できたことはとても喜ばしい出来事でした。2 つの例会いずれも高橋プログラム委員長の渾身の例会であったことを付け加えさせていただきます。

更に、牧親睦活動委員長を中心に委員会の皆様が何度も委員会でも真剣に話し合い素敵な家族会を企画して頂き、当クラブらしさを会員のみならずご家族の皆様にも感じていただけたものと思います。11 名の委員長の皆様が、それぞれの使命をしっかりと果たされ、本日を迎えることができました。親睦活動委員会の取り組みが、会員の皆様のクラブでの居心地の良さやクラブへの愛着醸成に少しでもお役に立てたとすれば嬉しい限りです。

改めて、当クラブ会員すべての皆様の温かいご支援と力強いご協力に深く感謝申し上げます。

簡単ではございますが、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

1 年間本当にありがとうございました。



鬼頭秀幸幹事

皆さまこんにちは、本年度幹事を務めさせていただいた鬼頭です。まずは豊橋ゴールデンロータリークラブの皆様のおかげで幹事という役を1年間全うできたことにお礼申し上げます。私的ではありますが、還暦を迎える年、また、弊社リサイクリング産業の操業50年という記念すべき年度に幹事という役ができたことにも感謝の言葉しかありません。最近の私の合言葉ですが還暦・感激・感謝であります。

また、私なりの1年間の反省といいますかふりかえってみますと、ひとことで言いますと、とても楽しかったです。本多会長の選ばれるブランド力を育てる、そしてこれは、私の解釈にもなりますが、豊橋ゴールデンロータリークラブらしさの追求といった方針に沿って、活動してまいりました。方針が、分かりやすかったので何より5大奉仕委員長をはじめとする、各委員長がとても積極的に挑戦して、インパクトのある活動をし、公共イメージの向上にもつながった年度であったと思います。委員会や理事会のなかで、様々な出来事があったかと思われませんが、その都度適切な対応をし、丁寧に活動したことととても有意義な年度になったと思います。

よって、私も理事会の進行や例会時も何のストレスもなく活動でき、繰り返しますが本当に1年間を楽しむことができました。やはり、豊橋ゴールデンロータリークラブが親睦と奉仕を重んじるといった脈々と続いている歴史と伝統がそうさせているのだなあと改めて実感しています。

ただ、幹事として一つ改善点をあげると(皆様にとっては一つだけでないと思いますが)

もう少し各委員長と事前に話し合う時間を設けていれば理事会等を、もっとスムーズに進行ができたかなあとと思います。この点は、次年度の高橋幹事なら、そつなくこなしてくれでしょう。

そうそう、困った時の事務局パワーの松本さんも忘れてはいけません。何時もたいへんお世話になりました。

一方、悲しく残念な事もありました。私から見た先輩たちが2人お亡くなりになり、そしてもう1人は病気等の理由で退会されてしまいました。宮川さん、小嶋さんに対し謹んでご冥福をお祈りし、大林さんも含めた先輩たちの笑顔を忘れないように今後のロータリー人生をおくりたいと思います。

楽あれば苦ありといいますが私は、苦あれば楽ありという考え方が好きです。まさに今年度のように後期に入って、新会員が7人入会し、前期合わせて合計8人も入会し、また、そのうち3人が女性だとは当クラブとしては記録的なことであり、たいへん嬉しいことだと思います。もちろん幹事として私も嬉しいですし、本多会長や鈴木委員長の会員増強委員会は、嬉しさと達成感も感じていることだと思います。それもそうなのですが、私が思うには当クラブ会員の皆さんが会員を増やしたいという思いと陰ながらの努力が実った結果だと確信しております。これを次年度からも続けましょうね。

最後に、豊橋ゴールデンロータリークラブ会員一人ひとりの奉仕する気持ちを更に育み、当クラブが更なる発展することを祈念申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



本多英司会長

みなさんこんにちは。

いよいよ今年度も来週の年度末懇親会を残すのみとなりました。昨年7月5日の第1例会で会長としての挨拶をしてからもう1年経

ったんですね。

この1年、掲げたクラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」を実現しようと、夢中で取り組んできました。結果、時間の流れに気づく暇もないほど、充実した日々だったと感じております。

これ、今日までの45回分の「会長の時間」の原稿です。今読み返すと、最初のころは極めてまじめで硬かったなど。途中、鬼頭幹事から「もっと笑いを入れろ」と言われ、「え？会長の時間って硬いもんじゃないの？」って、言い返したんですけど、「それもそうかもしれんな」と思い直し、私なりに工夫しながらお話ししてきたつもりです。

基本はロータリー関連に話題をもっていくので、まじめな内容になりがちですが、お話の中で、皆さんのちょっとした笑いがうまれたりすると、ちょっと嬉しかったりします。

会長の1番の仕事は、クラブ方針を考え、それをクラブ全体で実現するために、愚直に伝え続けることだと思っています。そういう意味で、「会長の時間」というのはとても重要な時間だと認識していたので、毎回真剣に考えて、その時に伝えるべきことを、その時にしっかりとお伝えできるよう、努力してきました。

結果、どんな1年だったか。それを判断するのは私ではなく、会員の皆さんであり、クラブを取りまく方たちのご判断だと思いますので、少しでも良い1年だったと思っていただけていたら、こんなにうれしいことはありません。

今日何をお話ししようかなと、考えながら、昨夜クラブ計画書の「年間例会プログラム」を眺めていました。見返していると、全46回、そのどれもがクラブ方針である「選ばれるブランド」をキーワードとして実施されており、鬼頭幹事をはじめ理事会メンバーの皆さんに感謝するばかりです。

先程、役員の方たちから退任のあいさつがありました。1年一緒に活動した、他の理事メンバーの方たちはその時間がなかったので、それぞれの活動について、お礼を兼ねて私からお話ししたいと思います。

まずは高橋プログラム委員長

全体の3分の1に近い例会を、企画し、プログラムを組んでくれました。クラブ方針にふさわしいスピーカー等、毎回、趣向を凝らして考えてくれました。

創立記念例会のパネルディスカッション、高井さんをコーディネータに起用したときは正直驚きましたが、楽しみながら学べる、良い例会でした。

新年初例会、まずは笑いから、ということで吉本芸人を呼んでくれました。抱腹絶倒、とまではいきませんでしたが、新年にふさわしい、新鮮な感じの例会でした。

春を感じる例会、「二川宿駒屋」さんでの外部例会には、想定よりもたくさんの会員の皆さんにご参加いただき、うれしすぎる悲鳴でした。

1700回記念の川上憲伸氏の講演会。ほとんど自分の趣味かと思いましたが、ふたを開けてみればとても面白く、また、鵜殿さん以外にも、こんなにもドラゴンズファンがいたのかと驚きました。

全てが高橋委員長、渾身の例会で、回を追うごとにクオリティがアップしていき、これらが全て、高い出席率につながったと感謝しています。

酒井職業奉仕委員長

委員長一押しの加山工業さんへの職場見学会、お土産までいただき、とても勉強になりました。

自社の経営理念にまで発展させた委員長卓話、まさに職業奉仕委員会の例会にふさわしいものでした。途中から村松会員に振る手法は学ぶべきものがありました。

そしてフォーラムも、すべてにおいてとてもスマートにやってのけました。

私も初めての理事は職業奉仕委員長でした。酒井委員長も、今後いろいろなお役目が回ってくると思いますので、「ハイカイエスカ喜んで」で、頑張っていきたいと思います。もちろん、協力は惜しみません。

保永社会奉仕委員長

地区補助金事業として、のんほいパークで、絶滅危惧種であるアカモズ・ヤマトサンショウウオを守る例会を開催してくれました。毎回理事会の度に委員長の想いのこもった追加の予算が、次々と膨らんできましたが、すべてを持ち前のバイタリティで乗り越えて、とてもうまく開催できたと思います。

先日秋篠宮さまが豊橋に来られた時に、のんほいパークへ訪問され、高見園長がアカモズの前でご説明されていました。とてもタイムリーで素晴らしい成果だったと思います。

太田青少年奉仕委員長

初めての理事会システムに戸惑ったと思いますが、最後にすごい例会をやってくれました。300人以上の中学生と事業を行うのって、中々記憶にありません。

しかも、ロータリー内でも災害対策に重きを置くこの時代、まさに時代に沿った事業だったと思います。将来

万が一の事態があった時、北部中学校出身の子たちが、地域のリーダーになって活躍してくれればうれしいですね。

村松国際奉仕委員長

年度始まる前からグローバル補助金という大変なお願いをしました。そして夏には単身ブータンへ訪問し、グローバル補助金事業への大きな道筋を作ってくれました。このままスムーズにいくかと思いきや、なかなか先方のレスポンスが遅く、ひとつのメールの返信に1か月かかるような時間軸とのすり合わせで、時間ばかりが過ぎてしまい、焦っていたと思います。ブータンのティンプーRCは、理事会の入れ替わりがないそうで、会長も幹事も担当者もずっと同じ方で、年度内に達成したいという感覚はこちらほど強くはなかったようです。結果、今年度中の実施がかないませんでした。私の心残りの一つです。でも、すでに計画は出来上がっていて、申請・実行までの道筋はできたとのことで、次年度はプロジェクトチームとして継続していきます。もちろんプロジェクトチームのリーダーは村松会員。私もチームの一員として、一緒に継続して頑張ります。引き続きクラブ全体での実施を目指しますので、次年度こそみんなでブータンに行きましょう。

神谷会長エレクト、山本直前会長にも、適宜適切なアドバイスをいただき、感謝しております。

理事の皆さん、1年間ありがとうございました。みなさんと1年間活動できて、とても幸せでした。

事務局の松本さんにも、いろいろと助けていただき、何かと頼りにさせていただきました。理事会メンバー一同、深く感謝いたします。

心残りといえば

もう一つの心残りは、インスタグラムです。目標とした1000フォロワーの未達成。鵜殿さんにアドバイスされた、当面の目標「古来や」さんの468フォロワーにもダブルスコアで及びませんでした。それでもここ最近の伸びがすごくて、今日現在で213フォロワーまで伸びてきています。バズるのも時間の問題だと期待していますので、あとの787は次年度以降の楽しみとしてとっておきます。

嬉しかったこと 会員増強

今年度は年度当初から会員増強を重点項目と位置づけ、積極的に公開例会をするなど、1年を通して頑張りました。結果、今年度目標に掲げた8人の新会員を達成でき、しかもそのうち3人が女性会員というさらに嬉しい結果もついてきました。地区の女性比率は5.8%。全国の女性比率は8.5%。比べて豊橋ゴールデンロータリークラブの女性比率は9.8%となり、一気にトップクラ



スに躍り出た、という感じです。当地区は毎年 100 人程度のロータリアンが減少しているといいますが、そんな中での増強ですから、なおさら価値があると思います。ただ、現状で満足してはいけません。先週もお話した通り、これからの会員増強のカギは、新会員が新会員を呼んでくることです。新会員の皆さん、新米だからなんて遠慮せずに、一緒に頑張りましょう。

嬉しかったこと 4 年ぶり修正出席率 100%を達成しかも 2 回も

年間通して高い出席率を維持してきましたが、特に春以降の出席率の高さはうれしいばかりです。そして、4/11 の春を感じる例会と、5/23 の 1700 回記念例会で、修正出席率 100%を達成しました。いずれも高橋プログラム委員長、渾身の例会ですね。そして、高井ラーニング委員長の、入会 3 年未満改め入会 5 年未満研修と、2 回のファイヤーサイドミーティングの貢献も大きかったと思います。

出席率は、クラブの活性度のバロメータと言われています。年度の後半にそのバロメータをピークにもってこれたという、うれしい結果となっています。皆さんに重ねて感謝いたします。

この一年を振り返って、まさに「不連続の連続」という言葉が頭をよぎります。

ロータリークラブは単年度制なので、1 年ごとに会長も、クラブ方針も、理事会メンバーも入れ替わります。まさに断続であり「不連続」。それでも、豊橋ゴールド

ンロータリークラブは「連続」して続いていきます。それは、年度ごとに会長が掲げるクラブ方針は、言葉こそ異なれど、根底にある思いは同じであるから、自然な流れで可能なのだと思います。

私たちの今年度の取り組みは、「選ばれるブランド」「選ばれるクラブ」であるための努力でした。それは創立の理念を受け継ぎながらも、今、時代の変化に合わせるために、必要不可欠なもの、だと考えたからです。

私たちのこの 1 年は、豊橋ゴールドンロータリークラブの歴史の中のほんの 1 部にすぎません。それでも、時代とともに新たな風が吹き、この 1 年が確かに意味のあるものであったと信じています。

そしてそれこそが、私たちのクラブの「不連続の連続」であり、変化の中にある本質的な継続なのだと感じています。

1 年という任期を終え、今月をもって私は豊橋ゴールドンロータリークラブの会長職を退任いたしますが、これからも継続して私たち「らしさ」を意識し、私「らしく」、クラブ運営に協力してまいります。

1 年間、支えてくださったすべての会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

1 年間、本当にありがとうございました。

以上で、私の退任のあいさつとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

★ニコボックス

本多英司・鬼頭秀幸：例会があと 2 回。うれしくもあり、さみしくもあります。役員退任挨拶です。役員の皆様一年間お疲れ様でした。感謝です！

高井龍雄：誕生日をお祝い頂き。

金子通信：ロータリーの友読みどころを紹介させて頂き。

西郷隆治・小笠原英彦・

石原聖季：地区研修協議会の報告をさせて頂き。

伊藤眞芳：役員退任挨拶をさせて頂き。一年間ありがとうございました。

鬼頭秀幸：皆さん一年間お世話になりました。いい感じの鬼頭でした。泣かないように挨拶します。ありがとうございました。

青山泰三・鶴殿健次：役員退任挨拶をさせて頂き。一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

石原聖季：7/19 夏の家族会「祇園祭」は是非ご家族を連れだってご参加をお願い！

牧野政雄・松島弘和：本年最後の出席報告をします。皆様の協力に感謝申し上げます。

杉浦宏始：本年度お疲れ様でした。

白井正樹・井上 穂・神谷 馨・

梅田英樹・杉田和俊・小笠原英彦・

保永真生・伊藤角栄・村松 光・

太田和彦・酒井正樹：役員の皆さんお疲れ様でした。

杉浦宏始：北部中学校 3 年生に薬物乱用防止出前講座の講演をしました。

岡本久永・梅田英樹・廣濱成一・

辻 信之・猪股ソノ子：川上憲伸さんのサインありがとうございました。

鶴殿健次：交流戦 5 勝 4 敗。交流戦なら優勝できます。がんばれドラゴンズ。

三輪桂司：昨日内示があり、7/1 より神奈川支店へ異動となりました。たった一年間という短い期間になりましたが本当にありがとうございました。あと一回例会よろしく願います。

岡本久永：ニコボックスの発表をさせて頂き。

岡本久永ニコボックス委員

★幹事報告

・豊田 RC、知立 RC よりビジターフィー変更のお知らせが届いております。

★他クラブの例会変更

■6月23日(月) 豊橋南RC 本年度最終例会

■6月25日(水) 渥 美RC 最終例会

■6月27日(金) 新 城RC 最終例会